

令和3年2月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

赤木 幸仁 議員

◇デジタル・オンライン化について

○県立学校における1人1台端末を活用したICT教育の推進について

(1) パソコンが配布されることで、具体的にどのような部分で生徒の学びが深まるのか伺いたい。

(教育長答弁)

パソコンを活用することで、令和4年度から実施される学習指導要領に掲げられている主体的・対話的な学習による深い学びの実現が図られるものと考えています。例えば、インターネットを使った情報検索や個々の習熟度に応じた問題演習、オンライン動画の視聴による復習等、個別最適化された主体的な学びを通して、生徒の学習意欲の向上につながるものと期待しているところであります。

また、校内外の生徒とオンラインでつながり、プレゼン資料を共有しながら発表したり、ペアやグループ単位でディスカッションを行ったりすることが可能となり、対話的な学びを通して、思考や理解を深めることができると期待しているところです。

(2) 学びを深めるため端末使用のルールはどのように考えているか伺いたい。

(教育長答弁)

パソコンは学びの質を高めたり、主体的・対話的な学習を促したりする新たな文房具と考えており、利用制限やルールを最低限にとどめることで、生徒がパソコンを使いやすい環境を整え、活用を促進したいと考えております。例えば、インターネットへの接続については、Wi-Fi環境がある場所では、学校内外を問わず利用できるようにしたり、パソコンは原則自宅へ持ち帰り、家庭学習等で活用させたいと考えています。

一方、情報セキュリティや情報モラルについてももしっかり指導してまいります。

(3) 今後教職員に求められる能力が変わっていくと考えるが、考えられる対策を伺いたい。

(教育長答弁)

今後教職員には、生徒の学びの質を上げるために、パソコンを授業のどのような場面でどう効果的に活用するかなど、授業を組み立てる力が求められると考えております。

具体的には50分の授業の中に、一斉指導だけでなく、ICTを活用した個別学習やグループでの協働学習を効果的に取り入れるなど、新しい授業形態を構築していく必要があります。その実現のため、県教育委員会では、来年度、ICT教育推進室の設置を検討し

	<p>ております。室の職員が学校のニーズやオーダーに応じて繰り返し学校訪問を行い、実際の授業を参観して指導・助言を与えるなど、授業改善に向けた校内研修の支援等を予定しております。</p>
--	---